

10代の貧困リスクに学校でできること

2017.8.2

～子ども食堂と進路相談の交わる場所～

基調講演「貧困の連鎖や中退を防ぐ、学校内居場所カフェの取り組み」

講師：石井 正宏さん（株式会社シェアするココロ代表取締役・NPO 法人パノラマ理事長）



シンポジウム：「札幌の学校でできる 10代のセーフティネットづくり」

シンポジスト：石井 正宏さん
鈴木 恵一 校長（市立札幌大通高校）
根本 義文 教諭（北海道有朋高校）
松井 智弘 教諭（札幌市柏丘中学校）
篠原 岳司 准教授（北海道大学）
コーディネーター：松田 考（Youth+センター館長）



～10代の若者が夢や希望を持つためには、人生の登場人物を増やすことが大切～

前半の基調講演は若者支援の第一人者である石井正宏さん（NPO 法人パノラマ代表理事）をお迎えして、神奈川県立田奈高校の図書館に開設された学校内居場所カフェの実践をお聞きました。人が生きていくためには「家庭」と「学校（職場）」の他に、第3の居場所が必要です。学校内居場所カフェは、中退や生活困窮リスクの高い高校生のために、第3の居場所を学校内に作る「2.5 プレイス」として全国的にも注目されています。

後半のシンポジウムでは、石井さんのほか、札幌市内の中学・高校の教員、大学准教授を交えてのパネルディスカッションを行いました。主に「札幌に学校内居場所カフェをつくるとしたら」という視点で、それぞれの立場からご意見をいただきました。白熱した議論に、学校教員・支援団体・大学生など 100 名を超える参加者が最後まで熱心に耳を傾けていました。

参加して頂いた皆さんと、会場を提供していただいた市立札幌大通高校の関係者の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。（文責：Youth+センター 松田・田中・松本）